

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	10	事業名	技能五輪選手育成事業費助成(選手育成)
------	----	-----	---------------------

1 基本情報

実施日／班名	10月15日 第2班	時間	15:05～16:00
担当課名	経済産業部 職業能力開発課	事業費	5,100千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)			
県実施 (現行・拡充)	判定区別	行政関与不要	3		
		行政関与必要	15	国・市町実施	0
				県実施	15
	一部見直し	4			
	現行・拡充	8			
判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)				
	・事業内容を充実し事業費を増額すべき				5
	・現行どおり実施すべき				3

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p>&lt;行政関与不要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成・技能の継承は民間企業(個人経営)が考えるべき問題であって、行政が介入すべきではないと考えます。</li> <li>一定の成果が出ていると評価されているが、成果指標からは読み取れない。また有効な施策を講じて出場選手の増加を図るとあるが、漠然としすぎていて納得できません。事業シート全体を通して表現があいまいで、目的が達成できるとは思えない。</li> <li>県が助成していることを知りませんでした。助成しないともものづくり産業が支えられないとは思えません。自分の技能を向上させることは自分の生活基盤をしっかりとさせることであるから、この事業がなくても技能は継承できると思います。それよりも、ものづくり産業が、他県・外国へ拠点をシフトしない方に力を入れるべきだと思います。</li> </ul> <p>&lt;県実施(抜本見直し)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民にとってメリットがない。参加者が属する会社や学校での価値が上がるだけ。</li> <li>目標も達成されていないし、入賞等の大幅な減少が見られないのはもともと入賞者が少ないからではないですか？</li> <li>(資料p88の)アンケートについては、質問の方法等が不明なため、アンケート実施者に回答をコントロールされた可能性もあり、これが回答者の本当の意見がうかがえるのかどうかは疑問だと思う。</li> </ul> <p>&lt;県実施(一部見直し)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これは教育の一環である。教育はボディブローで効いてくるもので必要だ。県事業としてみた時、この成果</li> </ul>
---

が世の中に見えていないのが実情と思う。個人、企業内に“ものづくりの技能”が埋もれているので社会への還元を考えてほしい。

- ・ 将来を担う若者達を応援したいと思います。大会は結果がすべてではなく、プロセスが重要と言っていますように技能大会で入賞することだけが目的ではなく、ものづくり産業を長く若者に継承していただきたい。そのためには本気でやる気のある人材には援助を差し伸べるべき。技術向上のために学校や企業にもっと援助するべきとあるように正当に使われるならコスト削減する必要はないと思います。若者達のひたむきな姿を応援してほしいと思います。

#### <県実施(現行・拡充)>

- ・ 技能五輪選手育成事業費助成は継続してほしいです。
- ・ 全国並みでいいと思います。
- ・ 何のものづくりなのか、明確にすべき。浅く支援してもあまり意味がないので、目標を明確にした上で、若い人たちのために、事業を拡充しても良いのではないか。
- ・ 予算が中途半端である。どうせやるなら拡充させれば、若い人のものづくりに対する思いも大きくなるのではないか。金額があまりに少ないし、若い人にもっと頑張ってもらいたい。
- ・ 支援した人がどのようになっていったのか、統計をとるべき。
- ・ 一流の技能者、技術者を育成することは県の産業を振興するために重要である。助成額は15万円に限定せず、増額すべき。これが静岡の特徴となったらよい。
- ・ 全国や静岡県において、育てれば優秀なトップランナーになるような人がいたら、親方や中小企業などが育て、それを見つけて県が助成すればよい。